

「いわき市には大好きな祖父母が住んでいて、その大切な場所で何かを形にしたいとずっと思っていました」と話す神奈川県出身の紺野琴水さん。2020年に来県し、いわき市田人町の地域おこし協力隊員として着任しました。「協力隊時代は、古民家カフェ『HITO-TABI』の運営やSNSでの発信、イベントの企画などを地域の方々と協力して行いました。田人の人は温かくて、さまざまな面で本当に支えていただいて…。約2年半活動し卒隊しましたが、少子高齢化が進み限界集落となりつつある田人のために何かできないか、自分にできることで少しでも役に立ちたいと、起業を決意しました」。



田人の新鮮な野菜や果物などを使って作った「HITO-TABI」のカフェメニュー

夢 ひらく！ ふくしま ストーリーズ Fukushima Stories

夢に向かって挑戦する人。地域のために伝統をつなぐ人。
福島で頑張る人たちの物語をご紹介します。

「つながった絆に感謝し 地域に恩送りをしたい」

一凛の花株式会社

代表取締役 紺野 琴水さん(いわき市)

2023年に紺野さんが創業した一凛の花株式会社では、「HITO-TABI」の運営を担うほか、婚活事業など地域を盛り上げる取り組みを行っています。「地元の人を巻き込みながら、毎年新しい事業を立ち上げています。『HITO-TABI』では、カフェのほか宿泊事業も開始しました。また、以前イベントで地元の方が作ったユズのコンポートがとてもおいしく、次代につなげるべき味だと思ったので、彼女たちと2年かけて商品化しました」と話す紺野さん。「今年で起業して4年目ですが、ありがたいことに、夏の宿泊も満室でユズのコンポートも好評です。少しずつですが、田人のことを知り、来ていただく入口になってきているのかな」と手応えも感じている様子。「今後も地域の魅力を国内外に発信し、世界中の人に商品を手にとってもらえたら」と、輝く笑顔で田人の未来を照らしていました。



得意の英語を生かして海外の予約サイトにも「HITO-TABI」の情報を掲載しています。

「地域の皆さんには大切なことを日々教わっています」と話す紺野さん。人との信頼関係を何より大事にしています。



ユズのコンポートを商品化した田人の皆さんと紺野さん。感謝と敬意を込めて、6人それぞれの顔のイラストをラベルに使用しました。



〒いわき市田人町黒田字唐沢35
☎ 070-2437-9633